

令和2年度第6回
関東学生ホッケー連盟役員会
議事録

期日：2020年8月19日（水）

時間：19時00分～21時20分

会場：オンライン会議にて実施

出席者：一川邦彦、寺本祐治（以上副会長）、関谷淳一（監事）、久我晃広（理事長）、萬納宏俊、成田健一（以上副理事長）、宮澤哲郎（事務局長）、臼井伸一、桑原一矢、西澤英一郎、三澤孝康、栗原崇、大野陽介、近藤聡史、菅野芳哉（以上常任理事）

森翔平（学連委員長）、山本文葵（競技委員長）、松田和真（広報委員長）、飯塚美里（財務委員長）、渡邊珠子（表彰委員長）、鈴木雄介（審判委員長）、石川宝（学連副委員長）、山本真央（書記）、池田拓巳（学連委員）

古屋会長が欠席のため、一川副委員長が代行して開催を宣言。

【審議事項】

1. 秋季リーグの開催について

・8月14日に行われた競技委員会協議事項を踏まえ、秋季リーグは会場となるグラウンド確保が難しいことや消毒等に要する作業時間を考慮すると、例年通りの規模でのリーグ開催はできない。試合数を抑える（従前に比べ約6割の試合数に抑える）ため、トーナメント制での開催（9月下旬を開催目処とする）の方針である旨の報告が、成田副理事長よりあった。また、当初8月下旬開催で準備していたインカレ予選（インカレ出場権関東ブロック決定戦）については未だ活動が再開できず参加できないチームもあるため開催は見送り、秋季リーグの結果を踏まえてインカレの出場校を決める方針である旨の報告があった。なお、活動が再開できていないが、秋季リーグに参加意向のあるチームについては、可能な限り、当該チームの試合日程を遅くし、試合が組めるように対応する方針とした。

本件について審議を行い、競技委員会方針を承認した。

・萬納副理事長より、秋季リーグの参加費については、中止となった春季リーグの参加費を繰越し、不参加のチームには春季リーグの参加費を返金するとの報告があり、承認した。

・コロナ感染防止を踏まえた運営ガイドラインについては、7月22日役員会で承認した「関東学生ホッケーリーグ/インカレ予選開催マニュアル」をベースに対応することを確認した。また、森学連委員長より、秋季リーグを開催するにあたって各種アプリ導入の提案があり、協議を行った。秋季リーグに参加するチーム（選手）には「ONE TAP SPORTS」「Peatix」利用などにより、体調管理（記録）を各チームが徹底する方針を確認した。

・秋季リーグパンフレットについて、臼井常任理事より報告があった。現在は紙媒体で作成できるように進めているが、PDFでの配信も検討している。また、パンフレットには上記の運営ガイドラインを記載し各チームに周知する方針であることが確認された。

・秋季リーグの入替戦実施について、協議を行った。様々な意見が示されたが、最終的に各チームにおいて、活動再開時期の差が大きい」「今回の秋季リーグ開催は平常時と異なり、開催自体が困難な状況下、試合をする場を提供することが目的である」「不測の事態で棄権するチームが出る可能性が否定できない

(そのチームに責任を問えない)」等の理由から、昇格・降格は行わないこととする方針を確認した。別途、毎月開催している学連会議(学生学連委員による会議)で、同方針を説明し、意見聴取することを確認した。

2. インカレ準備について

・8月7日に行われた日学連役員会決定事項をもとにインカレ準備について協議が行った。
・成田副理事長より、インカレ実施要項について説明があった。参加チームは男女それぞれ12チームで、各地区ブロックで一回戦を開催し、ベスト8以降を10/31~11/2に大井と駒沢の2会場、11/3に大井会場で行う予定。

・萬納副理事長より、インカレ予算案についての説明があった。

予算の協議の過程で、

・鈴木審判委員長より、競技役員の宿泊場所について、昨年利用した宿泊場所がコロナの影響で利用不可であるため、浜松町と蒲田の東横インを確保している旨の報告があった。今年は駒沢会場の試合も行われるため、駒沢に近い宿泊場所の確保が必要であるとの指摘があった。

・松田広報委員長より、広告協賛金についての状況報告があった。インカレ出場チーム決定が遅いため、参加チームに広告協賛金をもらうことは難しい。そのため今回は各大学からの協賛金は見込まないうで予算を組むことを確認した。一方でJHA坂本事務局長と連携して、企業からの協賛金確保に向け活動は継続する方針である旨の報告があった。

・宮澤事務局長より、インカレ運営組織図、インカレ工程表および当日のグラウンドチェックリストについて報告があり、確認を行った。

会場設営については、初日の対応が重要であり(設営に時間がかかる)、駒沢・大井サウスへの人員配置(学生の動態表)を早めに準備するよう指示があった。

特に、グラウンドチェックリストに記載の「ジャッジ席のPCは誰のものを持ち込むか(使用するか)、稼働状況の確認」「ジャッジ席のプリンター消耗品(トナーなど)のチェック、通信状況の確認」「試合球の準備」など、昨年・一昨年と初日トラブルになっている事象があり、今年は必ず前日には稼働確認等を行うことを確認した。

また工程表については、担当する各部門で内容を十分に確認し、準備を進めるよう指示があった。準備期間が例年に比べ短く、またコロナ感染防止を踏まえた対応が必要であるため、工程表の内容について、各部門で見直していくよう指示があった(一例として、例年開催していたコンプライアンスセミナーを今年は開催しないなど、各項目について今年の対応をどうするか、見直す必要がある)。

以上

(押印略)

関東学生ホッケー連盟副会長 一川邦彦

関東学生ホッケー連盟理事長 久我晃広

関東学生ホッケー連盟学連委員長 森翔平